研修名	ベトナムホーチミンインターンシップ研修

留学費用項目	かかった費用	備考
(申込時の料金は除く)	(円換算)	特記事項があれば記入してください。
食費	3万 円	
図書費	円	
学用品費	円	
携帯・インターネット費	1万5千 円	
現地通学費	2万 円	(研修先まで 10 分)
教養娯楽費	2万 円	
被服費	円	
雑費	2万 円	
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	10万5千 円	

渡航準備について
1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
なし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:換金所
その他用意したもの: □ クレジットカード □ デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
渡航前に携帯会社で準備
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
カードを海外でつかえるか確認すべき

現地情報
1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
図なし □あり(問題の内容や相談した人等:)
特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?
インターネットで調べた。実際には巻き込まれなかった。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
回線は良好だった。

滞在形態関連

1)留学中の滞在先の種類

□寮・アパート □ホームステイ 図ホテル
2)部屋の形態
□ 個室 □ 相部屋(同居人数 2 人)
3)共有部分
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
相部屋の場合は部屋に関する意見交換は必須
プログラムについて
プログラム参加前について記載してください
1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。
外国に渡航してみたかった
2)参加するにあたっての目標はありますか。
現地の人との交流を大切にする
3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。
マーケテイング系
プログラル翌世の会老とかる占な記載して/ださい
プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)どのような業界で実習を行いましたか。
<u> </u>
1)どのような業界で実習を行いましたか。
1)どのような業界で実習を行いましたか。 人材系
1)どのような業界で実習を行いましたか。 人材系 2) 主要な実習内容を記載してください。
1)どのような業界で実習を行いましたか。 人材系
1)どのような業界で実習を行いましたか。 人材系 2) 主要な実習内容を記載してください。 ホームページのファーストビュー変更
1)どのような業界で実習を行いましたか。 人材系 2) 主要な実習内容を記載してください。 ホームページのファーストビュー変更コラム作成 導入事例動画作成
1)どのような業界で実習を行いましたか。 人材系 2) 主要な実習内容を記載してください。 ホームページのファーストビュー変更コラム作成
1)どのような業界で実習を行いましたか。
1)とのような業界で実習を行いましたか。 人材系 2) 主要な実習内容を記載してください。 ホームページのファーストピュー変更 コラム作成 導入事例動画作成 3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。 全く知らないデジタルマーケティングという分野を担当したのですべてが未知だった。 4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。 知識の幅が広がった。 社員とのコミュニケーションは大変だった。 5) プログラム参加の成果等を記載してください。 幅ひろい知識の獲得
1)どのような業界で実習を行いましたか。 人材系 2) 主要な実習内容を記載してください。 ホームページのファーストビュー変更 コラム作成 導入事例動画作成 3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。 全く知らないデジタルマーケティングという分野を担当したのですべてが未知だった。 4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。 知識の幅が広がった。 社員とのコミュニケーションは大変だった。 5) プログラム参加の成果等を記載してください。

英語カ/コミュニケーションについて

1)申込時の英語スコアを記載してください。

TOEIC 630点程度

2)渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

単語の復習

3)実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

現地の言語を勉強した。そのおかげで、ベトナム人社員と会話ができた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

僕は外国に渡航するのは初めてでした。また、インターンシップすらも未経験でした。

ですが、外国に行ってみたいという気持ちだけで、申し込みを決めました。

不安しかありませんでしたが、渡航してみると意外と適応できます。現地の人とのコミュニケーションはもちろんのこと、留学先で出会った仲間とも最高の時間を共有できました。

僕は、留学の最大のメリットは経験と出会いだと考えます。社会人になったら 1 か月も休暇をとることはできません。 今しか留学はできません。

大学生はお金はありませんが、時間はあります。

沢山アルバイトをするもよし、親から借金するのもよいと思います。僕は自分で払いました。

いましか出来ない選択はいますべきです。きっと人生の財産になるはずです。

留学に迷っているかたは是非とも行動してください。

研修名 ベトナムインターンシップ

留学費用項目	かかった費用		備考
(申込時の料金は除く)	(円換算)		特記事項があれば記入してください。
食費	27800	円	
図書費	0	円	
学用品費	0	円	
携帯・インターネット費	3000	円	
現地通学費	16000	円	(研修先まで 10 分)
教養娯楽費	41000	円	
被服費	0	円	
雑費	800	円	
その他	30000	円	例:お土産
その他		円	例:
合計	118, 600	円	

合計	118,600 円	
	渡船	亢準備について
1)ビザ等の申込み等で特記す	ること(困ったこと)はあ	らりますか
ありません。		
2)現地通貨(現金)はどのよう	こ準備をしましたか	
現金の用意方法:現地で両替		
その他用意したもの: 🛛 クレジット	カード ロデビットカート	・・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどの	Dように準備しましたか
LCC さん紹介のアンナムテレコム	さんから SIM カードを購入	しました。
		· ~ 19 h 1. L L a 1 h 1 h 1 L 1.
4)日本から準備して行き切かる	ったものや、準備したは	うが良かったものはありましたか
	- ·	バリーで足りない分は、部屋で手洗いできたので良かったです。一方で
↓お土産に加えて、日本のコンビニ。	お菓子も準備するとべトナ	-ム社員さんと勤務中の会話のきっかけになると思いました。また、御礼

現地情報 1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等) 図なし □あり(問題の内容や相談した人等:) 特記事項: 2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたこ

の手紙用のカードを現地で入手しようと思いましたが、中々売っていないので、準備するべきだったと思いました。

とはありますか?その際どのように対処しましたか?

市場にはスリが多いという情報を GA さんから教えていただいていました。

3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

特に問題はありませんでしたが、ホテルの WiFi が弱かったです。

1)留学中の滞在先の種類
□寮・アパート □ホームステイ 図ホテル
2)部屋の形態
□個室 図相部屋(同居人数 2 人)
3)共有部分
図バス 図トイレ □キッチン(□自炊可 図自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
2 度、ゴキブリが出たのは嫌でしたが、必要十分な環境でした。同室のパートナーと価値観が合ったので、ストレスなく過ごせまし
た。同室人は重要です。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。

伊藤忠のサマースクールに参加して、駐在員の経験をお聞きしたのをきっかけに海外で働くことに興味を持ったので、自分はどれくらい海外勤務の志望度があるのか確かめようと思ったからです。

2)参加するにあたっての目標はありますか。

インターンの業務で数字で表せる結果を残すこと、ビジネス英語が使えるというポテンシャルの証明をすること、名刺を渡して人脈を広げること

3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。

マーケティング、コンサル、広告

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)どのような業界で実習を行いましたか。

ベトナム進出を検討している日系企業に工業団地を紹介するコンサル、ベトナム経済・工業団地情報誌の出版

2) 主要な実習内容を記載してください。

雑誌"インベストアジア"のコラム 1 ページの企画立案、メルマガ作成、商談同席、など

3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。

コンサルは、仕事内容がイメージできていなかったが、顧客の業界は様々だから、その都度、業界を勉強しておかないといけないことを学びました。日本との違いは、昼休みにお昼寝をすることと退勤時間になったら一斉に帰宅することで、ワークライフバランスがしっかりしていると感じました。

4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

ベトナムインターンに参加し、Sufex Trading に配属されて、リクルートで営業のキャリアを積んできた社長と上司から直接、今後に生かせるようなアドバイスを頂けたことが良かったです。一方で、このプログラムの悪い点は、英語を使いたいと言ったのに、日系企業だったことです。

5) プログラム参加の成果等を記載してください。

私は、海外のどこの国、地域に行っても、仕事をしていけると感じました。また、自分には、本質を見抜く力がまだ備わっていないので、知識や経験を積んで、自分の意見を持つように変えていきたいと思いました。

英語力/コミュニケーションについて

1)申込時の英語スコアを記載してください。

TOFIC 660

2)渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

4月に再び、TOEICを受験するので、そのための勉強をアプリで行っていましたし、英会話レッスンにも通っています。

3)実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

ベトナム現地では、勤務中に英語を使う機会が多くなかったので、上司から教えてもらった欧米人が集まるカフェやバーで自分から話しかける試みを実践しました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

ベトナムでの 1 ヶ月で、貴重な経験をすることが出来ました。もちろん、1 ヶ月のインターンでは何かスキルを身に付けることはできないけれど、今後、自分を成長させる課題、アドバイスを得られました。素敵なご縁に感謝するとともに、いつかビジネスの場面で再会したいと思っています。また、人との出会いは、決して企業の方々だけではなく、同じプログラム参加者で、他大学の人とも知り合うことができ、意識の高い同世代と考えを共有することは刺激になりました。私は、この経験をまずは目の前の就活から生かしていこうと思っています。

研修名 ベトナムインターンシップ

留学費用項目	かかった費用		備考
(申込時の料金は除く)	(円換算)		特記事項があれば記入してください。
食費	26000	円	食費+カフェ代
図書費	0	円	
学用品費	0	円	
携帯・インターネット費	3000	円	e-SIM 代
現地通学費	13000	円	(研修先まで 15分)、観光で使った交通費も含んでいます。
教養娯楽費	0	円	
被服費	0	円	
雑費	3700	円	洗剤やシャンプーなど
その他	7500	円	例:お土産
その他	29000	円	例:観光代
合計	82200	円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか

仲介会社の方が手配してくださったので、特にないです。

2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法:カードと 5 万円を持っていき、使えるところではカードを使っていたので換金は 3 万円くらいしかしませんでした。 その他用意したもの: 図 クレジットカード □ デビットカード・キャッシュパスポート

3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか

大学のオリエンテーションで紹介があった e-SIM を申し込みました。 e-SIM は SIM カードを受け取る必要がないので、飛行機の中で手続きをして現地に着いたらすぐ使えました。

4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

ホテルで1日3枚まで洗濯できたのですが、下着や細々としたものは自分で洗っていたので、洗濯できる袋と洗濯ばさみがたくさんついているハンガーを持って行きました。現地の洗濯屋さんは柔軟剤の匂いが強かったり、濡れて返ってきたりすることもあるようでした。私は出して取りに行くのが面倒だったので洗濯屋さんには1度も行きませんでしたが問題ありませんでした。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)

凶なし □あり(問題の内容や相談した人等:)

特記事項:バスは時間通りに出発しなかったです。

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

オリエンテーションで危険情報を教えていただきました。スマホに紐をつけて携帯する、お財布をポケットに入れないなどの基本的なことに気を付けているだけでも危険な目に合うことはなかったです。

3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

稀にインターネットに繋がらなくなることもありましたが、おおむね e-SIM の接続に問題はなかったです。

1)留学中の滞在先の種類
□寮・アパート □ホームステイ 図ホテル
2)部屋の形態
□個室 図相部屋(同居人数 2人)
3)共有部分
図バス 図トイレ □キッチン(□自炊可 □自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
2 人でホテルの部屋を共有していました。ホテルはとても清潔で朝ごはんもついていたので、自分で用意する必要がありませんでした。ただ人によっては虫が出たり、エアコンが壊れたりなどのトラブルがあったみたいです。最初は 2 人部屋で不安でしたがお互いにある程度気を遣い合っていたので、渡航前に心配していたほど問題なく過ごせました。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。

海外就職の選択肢を考えた時に、実際に経験しないとわからないと思ったため、短期間でありながらも海外で働いてみたいと思ったから。またインターンシップを通じて自分の長所・短所や業界・職種についての知識を得たいと思ったから。

2)参加するにあたっての目標はありますか。

様々な経験をして全てを考えるきっかけにしたかったので、インターンでは積極的に話しかけ、仕事をもらうこと。休みの日は色々な所へ観光することを目標にしていました。自分の意見を通すことが得意ではないので、自分の意見を持って最後まで主張できるようにすることも心がけていました。

3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。

IT 業界、マーケティングかコンサルティングの業界。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)どのような業界で実習を行いましたか。

IT 業界。日本企業向けオフショア開発の会社。

2) 主要な実習内容を記載してください。

会社やサービスの説明会、顧客リストの作成、メール配信、テレアポ、会議への出席、商談への参加・議事録作成、ツールの使用 法の説明。

3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。

マーケティングと言ってもインターンでできることは営業だと思っていたので、業務内容に関して、ギャップはありませんでした。ベトナムの人は仕事とプライベートの区別がはっきりしているので、業務時間が終わったらすぐ帰ったり、休日を有効活用したりプライベートが充実している印象を受けました。いい意味でも悪い意味でも自分の思ったことを素直に伝えるなとも思いました。

4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

私の所では主に日本・海外企業の営業のリスト作り、メール・テレアポ営業をしました。リストを作る上で顧客になりそうなところならどこでもいいよというような感じだったので、まずどのような企業に当たるかを考えるのが大変でした。また元々アポイントは取りにくいと言われていたので覚悟していたのですが、4 週目まで全く取れず、また英語のサイトで企業のリストアップとメールを書いたことが大変でした。しかし、業務以外ではお昼に連れて行ってくださったり、色々と企画してくださったりと、私たちが楽しめるように色々考えてくださっていたのでとても楽しかったです。

5) プログラム参加の成果等を記載してください。

アポイントを 1 件とることができました。リストを作る際に IT の用語の知識や、日本だけでなく各国の IT 業界についての知識をつけることが出来ました。また分からないことや自分の主張を相手に伝える能力も着いたと思います。

英語力/コミュニケーションについて

1)申込時の英語スコアを記載してください。

TOEIC775 点

2)渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

あまり英語を使う職場ではないとわかっていたので、特別なにかしたということはないです。ただ英語を話すことに抵抗を無くすためにオンライン英会話は1回30分を週2-3回やっていました。

3)実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

あまり英語は使いませんでしたが、伝わることが 1 番だと思ったので、綺麗な文章を作ることよりは単語だけでも声に出すようにしていました。

コミュニケーションとしては、日本語が上手いベトナム人の方が多かったので、婉曲的な表現よりも簡潔にわかりやすい日本語を使うことを心がけていました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

一応社会主義の国で発展途上国なので、日本ではありえないようなことが多くて日々刺激を受けますし、色々な考え方をする社会人の人と話すことができるので、視野が広がると思います。私は割とどこでも生きていけるなと思えて、就活に対しての肩の荷が少し降りました。また実践的な仕事ができて、自分の得手不得手や将来について考えるきっかけになるので、就活前の人にはとてもおすすめです。ただ私は本当に当たりだっただけで、企業ガチャ次第な所が否めないのと、語学のために行くという方はこのプログラムじゃない方が良いと思います。

研修名 ベトナムインターンシップ

留学費用項目	かかった費用		備考
(申込時の料金は除く)	(円換算)		特記事項があれば記入してください。
食費	12000	丑	
図書費	0	円	
学用品費	0	円	
携帯・インターネット費	2800	円	
現地通学費	5000	円	(研修先まで15分by車)
教養娯楽費	20000	円	ツアーなど
被服費	10000	円	
雑費	20000	円	
その他	8000	円	例:おみやげ
その他		円	例:
合計	77800	円	

渡航準備について
1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:現地で両替
その他用意したもの: 🛛 クレジットカード 🔻 デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
GAコンサルタンツが用意したeSIMを使いました。WIFIはホテルと職場のWIFIがあったので申し込んでいません
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
体温計、お薬、虫よけ

現地情報 1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例:研修の相談窓口、現地の友人等)
☑なし □あり(問題の内容や相談した人等:)
特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?
GAコンサルタンツから教わりました。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
電波はずっと良くなかったです

1)留学中の滞在先の種類
□寮・アパート □ホームステイ 図ホテル
2)部屋の形態
□個室 図相部屋(同居人数 1 人)
3)共有部分
図バス 図トイレ □キッチン(□自炊可 図自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
ゴキブリがいっぱい出るので気を付けてください。ドアマンの人が優しくて仲良くなれます。 仲良くなると別れが寂しくなるので注意してください。
プログラムについて
プログラム参加前について記載してください
1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。
海外に行きたかった事。インターンをしてみたかったこと。
2)参加するにあたっての目標はありますか。
積極的に英語をしゃべること、英語が得意ではない中でなんとかしてコミュニケーションをとること。それで今後の英語学習の課題を見つけようとしていました。また、インターンを通じて就職に向けて自分のやりたいことややれることなどを見つけたかったことです。
3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。
業界は特に意識せず英語を使う環境に行きたいと希望しました。
プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)どのような業界で実習を行いましたか。
ITviec というIT 専門の求人広告サイトを運営している企業で研修させていただきました。

2) 主要な実習内容を記載してください。

日本の企業が ITviec に興味をもち、リードを獲得できるようなマーケティングコンテンツの作成に当たりました。

3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。

ITviec はかなり特異な企業でとてもフレンドリーかつ温かみのある企業でした。社内イベントが大小さまざま行われ、社員の誕生日を祝ったり、ベトナム文化のお昼寝をしたり、仕事時間中におやつをみんな食べ始めたりと、とてもたのしい職場でした。

4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

マーケティングコンテンツを作成するというミッションの元最終日には形になるものが一つ作れたので良かったです。 悪かった点として、当初は4つの成果物を仮の目標にしていたので、100%を達成できたかといわれるとできなかったことです。

5) プログラム参加の成果等を記載してください。

ITvec	のブログペー	-ジでブロク	7記事を 1	つ作成

英語力/コミュニケーションについて

1)申込時の英語スコアを記載してください。

TOFIC710

2)渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

TOEIC 特にリスニング能力の向上に努めました

3)実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

ベトナム語の混じった英語でかなり聞き取りに苦労しました。コミュニケーションをとるためにボディランゲージを用い伝えること、相手に伝えようと努力していることが分かるように伝えていました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

ベトナム人は日本人のことをかなり好きだなといった印象を持ちました。みんな漫画やアニメの話になると、様々な作品名が出てきます。自分たちよりも詳しいんじゃないかと思ったほどです。仲良くなろうという姿勢が伝われば拙い英語でもコミュニケーションをとることができます。どうしてもわからないときは Google 大先生に助けていただければいいと思います。ベトナムってあんま惹かれないという人もいると思います。僕も正直そうでした。しかし海外に行きたいという人は場所ではなく、そこで自分が何をするかが重要だと思います。その点では他国よりも安くて、発展途上国の状況を知ることができ、ベトナムで良かったと胸を張って言えます。最後に、路上でいきなり日本語でしゃべってくる人には注意をしましょう。なんやかんやでぼったくられます。

研修名 ベトナムインターンシップ

留学費用項目	かかった費用		備考
(申込時の料金は除く)	(円換算)		特記事項があれば記入してください。
食費	29000	丑	
図書費	0	円	
学用品費	0	円	
携帯・インターネット費	4000	円	シム代
現地通学費	1000	円	(研修先まで 徒歩 10 分)現場の時のみタクシー
教養娯楽費	8700	円	
被服費	10600	円	
雑費	1200	円	
その他	5160	円	例:ネイル、マツエク
その他		円	例:
合計	59660	円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか

特になし

2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法:事前に10万円ほど用意し、現地では、2万円ずつ換金していた。

その他用意したもの: 🛛 クレジットカード 🔻 デビットカード・キャッシュパスポート

3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか

学校で案内された SIM を契約した。

4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

モバイルバッテリーは必須。Cタイプのコンセント。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)

図なし □あり(問題の内容や相談した人等:)

特記事項:

2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

危険地域情報は学校の事前学習のみで、常に外を出歩く時は、鞄を車道側とは反対にかけ、基本的に鞄を両手でホールドしていました。

3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

ホテルの Wi-Fi がたまに弱いことがあったけど、基本的に問題なく使用できた。

1)留学中の滞在先の種類
□寮・アパート □ホームステイ 図ホテル
2)部屋の形態
□個室 図相部屋(同居人数 2 人)
3)共有部分
☑バス 図トイレ □キッチン(□自炊可 □自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
共同生活を行う上で、最初に自分が気になることや、苦手なことなどの情報を共有した。私は、同居者と同じ出勤時間だったため、
起床時間が同じだったが、違う人は、朝のルーティンが異なるため少し大変そうでした。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。

実践的な英語力を身につけるとともに、インターンを通して将来自分がやりたいことを見つけたいという目的で参加した。留学ではなく、インターンに参加することで、社内では業務会話、外では日常会話など、さまざまな英語に挑戦する機会が多いのではないかと思ったため。また、日本と海外の働き方の違いや雰囲気を感じたかったため。

2)参加するにあたっての目標はありますか。

初めてのインターンや長期的な海外経験で不安や緊張はあるとは思うけど、積極的な姿勢で取り組みたい。さまざまな人と交流できるように自分から話しかけにいく。また、社内での人の動きを観察し、アルバイトとは何がどう違うのか知る。

3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。

特に、希望はないが、英語の使用頻度があり、オフィスワークだけではなく、アクティブに働けるところを志望した。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)どのような業界で実習を行いましたか。

イベント会社で実習を行いました。

2) 主要な実習内容を記載してください。

3 月の頭にとても大きなイベントがあったので、それに向けての準備がほとんど。当日の企画の一部を行うことや、資料作りを行った。イベント当日は現場で、運営の手伝いを行った。

3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載 してください。

イベントのお仕事は、現場や企画業務のイメージを強く持っていた。しかし、実際は、現場や企画等のお仕事はもちろん、イベントゲストのスケジュール管理や、イベントを多方向にどう見せるかなど、自分の想像以上に意識することや取り組んでいる業務の幅広さのギャップがあった。日本のイベント会社をよく知らないが、イベント会社の支社数がやはり、ベトナムの方が少ないので、日本と行う業務の範囲が膨大であることに気づいた。

4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

良かった点は、自分たちが頑張って取り組んできたことが最終的には、イベントとして形になること。お客さんの反応やイベントに対する評価が直に感じることができるので、達成感や大きな喜びを感じることができる点。一方、私は、言語も頑張りたかったが、ベトナムという国では不向きであった。

5) プログラム参加の成果等を記載してください。

JNTO 商談会にて、レセプションや、大阪、関西万博のマスコットキャラクターの専属マネージャーを務めた。また、Japan Vietnam Festival では、ブースの企画書を作成し、代表者に任命、同じく、万博キャラクターの専属マネージャーとして、ステージ演出、VIP 対応等を行いました。

英語力/コミュニケーションについて

1)申込時の英語スコアを記載してください。

TOFIC620

2)渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

英単語の学習や、ドラマを見て会話フレーズを覚えたりしていた。

3)実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

実習先では、日本語がメインであったため英語を使う機会が全くなかった。また、あんまり現地の人とコミュニケーションをとるような 仕事形態ではなかったため、昼休みやちょっとした時に自分から話かけることに努めた。英語の使用は出掛け先がほとんどで、外 国人観光客や店員と英語で会話をした。聞き取れないことがあったらそのまま流さずに、何度も聞き返したりした理解しようとした。

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私がお世話になったイベント会社では、丁度一大イベントと時期が被ってきたので幅広い業務を体験することができました。基本的に、オフィス業務で、イベントに関係する資料や物品の作成を行いました。現場では、それぞれ与えられたポジションで働きました。私はインターン生ながら、ブースの代表者や、マスコットキャラクターのマネージャーを務めました。使用言語は日本語がメインで、現地スタッフの人との関わりは勤務中ほとんどありませんでした。生活面で困ったことは、特にありませんでした。ただ、初めのうちは暑さに慣れるまでに時間がかかりました、、。ベトナム料理だけでなく、日本食、韓国料理などがあったので、食関連で困ることも特になかったです。今後の展望は、海外に滞在しながら、働くという経験を得て、日本とは違った生活スタイルや光景に魅了されたので、駐在員として海外勤務できるような企業に務めたいです。

研修名 ベトナムインターン

留学費用項目	かかった費用		備考
(申込時の料金は除く)	(円換算)		特記事項があれば記入してください。
食費	35000	円	
図書費	3000	円	
学用品費	0	円	
携帯・インターネット費	2800	円	
現地通学費	14000	円	(研修先まで 分)
教養娯楽費	40000	円	
被服費	0	円	
雑費	5000	円	
その他	0	円	例:
その他	0	円	例:
合計	99800	円	

	00000 1	
	渡舫	亢準備について
1)ビザ等の申込み等で特記す	ること(困ったこと)はあ	りますか
特になし		
2)現地通貨(現金)はどのよう	こ準備をしましたか	
現金の用意方法:換金所にて		
その他用意したもの: 🛛 クレジット	カード 🛛 デビットカード	·・キャッシュパスポ <i>ー</i> ト
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどの	りように準備しましたか
学校紹介の eSIM		
4)日本から準備して行き助かっ	ったものや、準備したほ	ほうが良かったものはありましたか
洗濯洗剤と洗濯袋		

現地情報
1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
図なし
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?
あまり現金はたくさん持ち歩かないようにしました
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
ホテルの Wifi 接続があまりよくなかったです

1)留学中の滞在先の種類
□寮・アパート □ホームステイ 図ホテル
2)部屋の形態
□個室 図相部屋(同居人数 3人)
3)共有部分
5)感想: (滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
毎日清掃が入り、洗濯も三点までは無料だったので良かったです。かなり日差しが強いので薄い上着やカーディガンがあると良い
です。
プログラムについて
プログラム参加前について記載してください
1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。
海外で働くことを一度経験してみたかったから。ベトナム文化を知りたかったから。
2)参加するにあたっての目標はありますか。
ベトナム人の方とコミュニケーションをとることができるようにすること。自分から進んで提案などしてみること。
3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。
食品関係、エンタメ、広報など。
プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)どのような業界で実習を行いましたか。
観光業
の、大声も中の中央と記書していかり、
2) 主要な実習内容を記載してください。 ツアーの PR,ツアー内容や価格の見直し,ホーチミン PR
3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載
してください。
パソコンでの作業が多いとイメージしていましたが、外での仕事も結構あったこと
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。
良かった点は観光業で働くことで今まではお客さん側の視点で旅行していたのでその視点を生かすことができた。またホーチミンの 魅力をより深く感じることができた。大変だったことは、自分の力で改善案を根拠をもって提案することが難しかったです。
/ 一
5) プログラム参加の成果等を記載してください。

成果は実際にアオザイツアーというベトナム伝統衣装のアオザイを着て観光スポットへ写真撮影に行くというツアーの自分の価格案が通り、変更されたこと。

英語力/コミュニケーションについて

1)申込時の英語スコアを記載してください。

TOEIC 620 点

2)渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

ビジネスで使えそうなフレーズを確認した

3)実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

相手はベトナム人で英語は母国語ではなかったのでゆっくり話すようにした

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

今回の研修を通して、たくさんの出会いが仕事の中や生活面でありました。オフィスでほとんどがベトナム人で最初は不安もありましたが、自分から積極的に目を見て話し、お昼ご飯を一緒に食べに行くことで少しずつコミュニケーションが取れるようになっていきました。お昼ご飯では現地のローカルなベトナム料理を楽しむことができ、食べ方なども日本と全く異なることが楽しかったです。週末は同部屋の友達とホーチミンの観光スポットを行きつくしました。お土産やご飯などの物価も安かったので楽しむことが出来ました。

研修名 ベトナムインターンシップ

留学費用項目	かかった費用		備考
(申込時の料金は除く)	(円換算)		特記事項があれば記入してください。
食費	50000	円	
図書費	1980	円	
学用品費	0	円	
携帯・インターネット費	3500	円	
現地通学費	7200	円	(研修先まで Grab で10分)
教養娯楽費	25000	円	
被服費	5000	円	
雑費	2000	円	
その他	7500	円	例:土産代
その他		円	例:
合計	102180	円	

現地情報
1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
図なし □あり(問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?
海藍前オリエンテーションで得た情報(フリカデンが熱し含また川に関する話)かた。 ろれぞれ進歴した。特にフリ対策としてフラートフ

渡航前オリエンテーションで得た情報(スリやデング熱、食あたりに関する話)から、それぞれ準備した。特にスリ対策としてスマートフォンケースは首からぶら下げることのできるものにし、チャックのついたバッグのみ持って行った。

3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

E-SIM だったため、渡航前に QR コードから接続を行っていたためスムーズだった。

1)留学中の滞在先の種類
□寮・アパート □ホームステイ 図ホテル
2)部屋の形態
□個室 □ 相部屋(同居人数 1 人)
3)共有部分
□バス □ トイレ □ キッチン(□ 自炊可 □ 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
滞在先のホテルでは 1 度も虫が出ることなく、非常に快適な空間だった。滞在先では相部屋になることも多いと思うので、相部屋の友人と生活の上で気になることなどは共有しておくべき。インターンで疲れて帰ってくることも多いので、外に行かなくても夕食を済ませられるようにカップ麺などを現地で調達している人も多かった。
プログラムについて
プログラム参加前について記載してください
1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。
以前からぼんやりと思っていた海外で働きたいという気持ちに対して実際はどのようなものか、ということを身をもって実感しに行く。また、就職活動前にインターンシップに参加することで将来の自分の理想像の解像度をあげる。
2)参加するにあたっての目標はありますか。
積極的に仕事に取り組む。会議などでは終了後にできるだけ質問ができるように考えておく。会食などで会う予定の人に関する情報合出来るだけ事前に調べ、その人にしかできない質問を考えておく。
3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。
コンサルティング業務
プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)どのような業界で実習を行いましたか。
日本人弁護士とベトナム人弁護士の所属する日系の弁護士事務所
2) 主要な実習内容を記載してください。
会議への同席、企業ホームページを充実させるためのコンテンツ作成(ビジネス用語・日本人起業家へのインタビュー記事・ベトナムでの M&A に関する記事)
3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。
弁護士事務所というと法務関連のことのみアドバイスをすると思っていましたが、弁護士の方がビジネスへの見識も深くビジネス面・ 法務面の両方からアドバイスをしていた。日系企業がベトナム進出を考える際に弁護士事務所に相談することが多かった。
 4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

5) プログラム参加の成果等を記載してください。

いすることができた。大変だった点は特にない。

自分の目的である、海外で働く人を見るということに沿った経験ができた。想定していた人数よりも多くの人、多くの業種の方にお会

各タスクを完了させ、ホームページ内のコンテンツを充実させることができた。	
	ļ

英語カ/コミュニケーションについて

1)申込時の英語スコアを記載してください。

TOEIC 730 点

2)渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

TOEIC の受験(それに伴いリーディング・リスニング力の向上)

3)実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

インターン期間中、企業では主に日本語を使用したため英語を使用する機会はほとんどなかった。英語・ベトナム語のみ話す方がいたためその方とのコミュニケーションは英語で行った。

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

今回の研修を通して、不明瞭で分からなかった海外での仕事について非常に理解を深めることが出来ました。自分のキャリアを海外で築き上げたい人、また海外で働くことに興味がある人にとってはとても良い機会になると思います。また、研修に行くにあたって、どのような目的を持って行くかということが大事です。企業のマッチングの際にこの目的を伝えることで、満足度が上がると思うので 1 ヶ月の研修で何を得たいのかということを明確にするべきだと思いました。

研修名 ベトナム・インターン研修

留学費用項目	かかった費用		備考
(申込時の料金は除く)	(円換算)		特記事項があれば記入してください。
食費	12000	円	昼・夜・その他
図書費	0	円	
学用品費	0	円	
携帯・インターネット費	2800	円	音声通話付き eSIM
現地通学費	5000	円	(研修先まで Grab で 15 分)約 250 円×20 日
教養娯楽費	20000	円	ツアー観光
被服費	0	円	
雑費	20000	円	日用品代、お土産代
その他		円	例:
その他		円	例:
合計	59800	円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか

特になし。

2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法: 現地到着後、ホテルの近くの両替所で両替。

その他用意したもの: 図 クレジットカード □ デビットカード・キャッシュパスポート

3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか

価格の安さや安心感があったため、エージェントからお勧めされた eSIM を利用。 通話はできるようにという指示があったので音声通話付きの eSIM を購入した。手続きは非常に簡単であった。

4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

以下は、滞在2日目で必要・あったら便利と思ったもの

*ファブリーズ

現地のスーパーで購入したものの香りが強めであったり無香料のものがあまりなかった。羽織ものやベッドなど気になる場所に使用した。

* ティッシュペーパー(部屋に置いておく用)

ホテルの部屋にティッシュがなく、ルームメイトが持っていた部屋用のティッシュを一緒に使わせてもらった。ただ現地のスーパーで安く購入できるので必要不可欠というわけではない。

*ボディソープ・シャンプー・トリートメント

ボディソープとシャンプーはホテルのアメニティとしてあると記入があったが、一人用の少ないものだったので、ルームメイトと共用すると考えるとたくさんは使いにくい。現地で購入したものの日本製は日本価格よりも少し高い。トリートメントは髪がバサバサにならないために必要だと思った。

*洗剤

ホテルのランドリーサービスで 3 着までと決まっていたので靴下やタオルなどは自分で洗濯した。現地のスーパーに売られている洗剤はどれも大きすぎたので少し高めだが程よいサイズの日本製の洗剤を購入した。洗濯用の袋もあったら便利。

*洗濯ばさみ

自分で洗ったものを干すために必要。ハンガーがついていてひっかけられるものがとても使いやすい。

*ハンガー

自室にあった分だけでは2人では少なかった。ワンピースやジャケットなど吊るしておきたいものがある場合は必要。

*延長コード

ベッドの近くにコンセントがない場合もあるので持っていったら安心。

*フェイスタオル

備え付けのタオルはフェイスタオル 1 人 1 枚とバスタオル 1 人 1 枚。掃除をしてもらうまで新しいタオルは使えないので自分のフェイスタオル 1 枚あったらいつでも気にせず使用できて便利。

以下はすぐに必要ではないが、あったら便利なもの

*ボウル・箸

もし部屋でインスタントラーメンなどを食べるならあったらとても便利。インスタントラーメンはスーパーでかなり安く買える。インスタントフォーも安い。

*インスタントの味噌汁など・・・日本食はあるが、少し高かったり味が少し違ったりすることがある。インスタントを持っていると部屋で リラックスして食べられるのでお勧め。安心できる。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)

図なし □あり(問題の内容や相談した人等:)

特記事項:

2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

事前学習で様々なトラブルや注意点・対処法などは参考になった。観光名所はスリ・ぼったくりには特に注意した。また外務省のたびレジにも登録した。

3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

ホテルの Wi-fi は強いとは言えない。 部屋にいても時々切れてしまう。インターネットは eSIMが準備も現地での設定もとても簡単で便利だった。 接続も日本と変わらず屋外でも室内でも普通に使用できた。 弱いとも思わない。 職場の Wi-fi にも繋げることができたのでネットの関係で困ることはなかった。

滞在形態関連
1)留学中の滞在先の種類
□寮・アパート □ホームステイ 図ホテル
2)部屋の形態
□個室 図相部屋(同居人数 1人)
3)共有部分
☑バス 図トイレ □キッチン(□自炊可 図自炊不可) ケトルと冷蔵庫はあるのでインスタントは食べれる。
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

部屋はきれいで使用しやすい。ただアメニティが 1 人分であったり金庫の使い方が少し難しかったり少し戸惑うことはあった。ルームメイトと一緒ということを考えて、アメニティに頼らなくても 1 人で生活できるように洗剤やハンガーを準備しておいた方が相手に迷惑がかからない。鏡も全身鏡・洗面台・部屋の壁の 3 枚あり、メイクも洗面台が混雑することはなかった。ホテル(BongSen Hotel Saigon)の場所も中心地に近く、ショッピングモールやコンビニも徒歩で行きやすい。スーパーはローカルな食品が安く買えるのでかなりお勧め。ホテルのフロントの方もベルボーイの方も優しく、わからないことを聞きやすい。外に出るとバイクがいっぱいだったりベトナム人や他の外国人がいっぱいで、気をつけることが多いので、1 日の過ごし方をイメージして「これがあったら便利」を持っていけるとリラックスして快適に過ごせると思う。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。

社会・会社の中で自分に何ができるのか知り、将来についてより明確に深く考えられるようにするため。 これまで身につけた自身の英語力が世界にどれほど通用するのか知るため。また、英語圏外のコミュニケーションを学ぶため。

2)参加するにあたっての目標はありますか。

与えられたタスクを精一杯取り組むこと。

また、この1か月をどう過ごすかは自分次第。決してこの時間を無駄にしないように、特になんでもやってみる。 英語圏以外の方とコミュニケーションをとりたいため、現地の方と一緒にご飯を食べたり、おすすめのお店を教えてもらう。

3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。

ぼんやりとした希望はあったが、本当にその業界で良いのかというところまでは明確に決まっていなかった。そのため、エージェントが 会社とマッチングしてくれるこのプログラムは私にとって非常に合っていた。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)どのような業界で実習を行いましたか。

ベトナムの | エンジニア専門の求人サイト(採用・就職・転職ツール)

2) 主要な実習内容を記載してください。

日系企業向けのコンテンツマーケティング、コンテンツ作成

3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。

業界のイメージに違いは特になく、ベトナムの求人サイトも日本と同様であった。強いて言えば、一部の分野に特化した求人があると初めて知った。仕事内容のイメージは想像と同じくらいか、それよりもさらに大変だった(詳細は4)に)。日本との違いは特に感じなかった。しかし会社の雰囲気は他の企業とはかなり異なり、良い意味で日本らしくなく、とてもフレンドリーでアットホームな雰囲気であった。その点で特に日本にある企業や海外にある日系企業とはかなり異なり、個人的には「楽しく働ける環境」がとても合っていた。

4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

良かった点は、インターン先の担当者の方が、ビジネスの基本の"き"から教えてくださったこと。ビジョンやミッションの設定、目的、連絡方法、ツールなどを教えてくださり、将来自分のキャリアを考える際や社会人になった時に重宝すると思う。このプログラムに、この会社に参加することができてとても良かった。

大変だった点は、IT 初心者であったため用語調べやトレンドなど基礎的な部分を調べる時間も必要であったこと。また、アイデアが浮かんだとしても、アイデアが浮かんだきっかけや発端が会社から少し異なった途端に合わなくなってしまうと知り、企画する難しさ、リサーチの難しさを実感した。

これまでの学生生活では、ゴールまでのプロセスの過程がある程度決められていたが、(たとえば、ブログ記事作成をゴールとした場合、すでにインタビューが予定されているなど)、今回のインターンではプロセスの過程が白紙の状態で行わなければならなかった。この点が他のインターン先とはかなり異なる難しい点であったと思う。

5) プログラム参加の成果等を記載してください。

結果的に達成するべきゴールの 20%程度しか成果を出せなかった。この結果は他のインターン生と比較してもかなり低い達成度であったと思う。しかし 1 か月間すべて自分たちで調べ、考え、実行することの大変さや、実際にやってみたからこそわかる改善点などを知ることができた。今後就活をする際、社会に出た際に、この葛藤した 1 か月が私にとってすごく励みになると思う。どうすればゴールに向けて自分の能力を最大限に発揮できるのか、どうすれば時間や費用の制限の中でゴールを達成することができるのかを考える重要性を理解することができた。

英語力/コミュニケーションについて

1)申込時の英語スコアを記載してください。

TOEIC730 点

2)渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

耳を慣らすためにアメリカのドラマを見ていた。ストーリーの中で、こう言うのか!という発見があった際は自分でセリフを真似してみた。また、時々独り言のように日常の中で英語をつぶやいてみることもしていた。

3)実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

社内はほとんどがベトナム人なので基本的に英語でコミュニケーションをとることができた。ベトナム訛りの英語で聞き取ることが大変なこともたくさんあったが、聞き取れたときにはお互い嬉しくて笑ってしまうくらい、困難さえも楽しむことができた。またこちらがベトナム語を頑張って覚えて話そうとすると教えてくださったり、逆に日本語を頑張って話してくださったり、英語圏ではないからこそのコミュニケーションをとることができた。相手が英語がしゃべれなかったり、どうしても通じない時は翻訳を使って会話をした。

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

実際の成果としては、達成できなかったと思います。しかし、この「未達成」というのは学生である今だからこそできることだと思うし、 今後社会に出た際もこのうまくできなかった経験を活かすことができると思います。そのため後悔はしていないし、満足もしていません。「自分のやらなければならないこと、やりたいこと、できること」。これらは何かをじっくり考えて、自分の将来と向き合っていきたいと思います。

また、他学部や他大学の子とも仲良くなれたし、会社の社員さん方とも仲良くなれてコミュニティが広がったのと同時に、家族や日本にいる友達の大切さ・居心地の良さにも気づくことができました。SNSで繋がれるこの時代でも、実際に会ってみて話してみるとすごく良い思い出になります。本当に有意義で特別な 1 か月を過ごすことができました。言葉が通じないから、知らない人しかいないからといった理由で飛び込むのをやめてしまいこの報告書はホーチミン滞在中にも書いているので、少しは準備の役に立ったら嬉しいです。ちなみに渡航準備の(4)は滞在 2 日目に書いたものもあり、割とすぐに「あると便利」と思ったものですので、準備の際ぜひ参考にしてみてください!